



20th anniversary
20周年記念誌

財団法人 山梨県国際交流協会

目次

- 1 **ごあいさつ**
財団法人山梨県国際交流協会 会長 芦澤 薫
- 2 **財団法人山梨県国際交流協会設立20周年に際して**
山梨県知事 横内 正明
財団法人自治体国際化協会 理事長 木村 陽子
- 4 **メッセージ**
- 8 **20周年記念事業**
- 14 **今後の事業展望**
- 15 **功労者の紹介**
- 16 **20年のあゆみ**
- 18 **役員・評議員紹介**
- 19 **施設紹介**

ごあいさつ

山梨県国際交流協会は、平成2年9月、それまでの(財)山梨県海外協会の取り組みを発展させ、「県民が主体となった国際交流、国際協力等を推進し、世界に開かれたふるさと山梨づくりに寄与する」ことを理念として設立され、今般、20周年という大きな節目を迎えることができました。

この間、当協会では、設立時の理念を実現するため、大勢の県民の皆様や外国人住民の方々の参加を得ながら、国際交流、国際協力、海外県人会支援など、多岐にわたる事業を積極的に展開し、地域レベルの国際化を推進してまいりました。

最近では、県の国際化施策に資するため、国際観光振興事業に取り組むほか、県と姉妹・友好関係にある海外の自治体との締結記念事業につきましても、県と連携を図りながら県民参加型の事業展開を図っております。

一方、本県における外国人登録者数は、平成21年12月末現在で1万6千人を超え、居住する外国人との「多文化共生」の重要性が高まってきております。このため、当協会では、言語、文化、生活習慣が異なる外国人住民に対する生活支援及び地域住民への意識啓発等を目的として、市町村や関係団体と連携を図りながら、日本語講座の開設をはじめ、多様な事業に積極的に取り組んでおります。

また、平成18年度からは、県立国際交流センターの指定管理者として、同センターの機能を最大限に活用しながら、県民の皆様に親しまれる施設を目指して、地域レベルの国際化推進のための拠点として、効率的な管理運営にも努めているところであります。

このような状況の中、設立20周年に相応しい記念事業として、昨年3月の「やまなし日仏音楽交流事業」を皮切りに、『山梨四国友好の森』で記念植樹を行う友好県省締結25周年記念ツアー、「カンボジアにおける地雷除去と復興地域の人々との交流事業」、「オープンキャンパス『やまなしYIA国際塾』」、「外国籍児童・生徒のための教育シンポジウム」、「国際フェスタ2010」、「設立20周年記念講演会」など7事業を、(財)自治体国際化協会や(独)国際協力機構(JICA)などと連携を図りながら展開し、県民の皆様と一緒に20周年を祝うとともに、次なるステップを目指す機会とさせていただきます。

20周年を迎え、当協会では、今後とも、地域レベルのさらなる国際化推進の中核的な組織としての役割を担っていくため、市町村、地域の大学及びNPO法人など、関係団体との効果的な連携・協働のもと、社会経済情勢の変化に対応しながら、「発信し、行動する」協会を目指し、役職員が一丸となって10年先、20年先を見据えた質の高い事業の展開を積極的に図ってまいり所存であります。

県をはじめ、市町村、国際交流団体など関係各位のこれまでのご支援に対して感謝の意を表しますとともに、今後とも変わらぬご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます、ごあいさつとさせていただきます。



財団法人 山梨県国際交流協会
会長
芦澤 薫

財団法人山梨県国際交流協会設立20周年に際して



山梨県知事

横内 正明

山梨県国際交流協会の設立20周年を心よりお慶び申し上げます。

国際交流協会は、本県における国際化の機運の高まりを受け、地域レベルの国際化を推進するための中核的な組織として、県、市町村、多くの企業や団体等の連携のもとに平成2年9月に設立されました。

これまでの20年間、我が国を取り巻く国際環境は大きく変化し、地域レベルの国際化が急速に進展していく中で、協会は、国際交流をはじめとする様々な事業に取り組みされてきました。

とりわけ、JETプログラムで来県した国際交流員、外国語指導助手など本県に在住する外国人の協力を得ながら、各地域において、異文化理解や親善交流の機会を数多く提供されるなど、地域住民の国際理解の増進と国際感覚豊かな人材の育成に尽力されております。また、国際協力の分野におきましても、海外技術研修生の研修が円滑に実施できるよう日本語研修の実施や生活面での支援など、多彩な取り組みを進めておられます。

このように、協会は、本県の国際化施策推進の中核組織として、積極的に事業を展開されながら、県民や民間団体と行政とのパイプ役としてご尽力いただいていたところであります。

また、最近では、国際交流や国際協力に加えて、国籍や民族などの異なる住民が地域社会の構成員として共に生きていく「多文化共生」への取り組みが、大きな課題となっております。

こうした中、協会では、外国人住民が本県で安心して生活できるよう、外国人相談の開催、緊急情報ガイドブックの作成、災害時の通訳ボランティアの育成、災害避難所模擬体験など、多文化共生の地域づくりに努めていただいております。今後とも、これまでの経験やノウハウ、人的ネットワークを十分に活用され、引き続き多文化共生の推進に力を発揮していただきたいと思っております。

結びに、設立20周年を契機に、本県における国際化のさらなる推進のため、市町村や関係諸団体との連携・協働のもと、新たな企画や事業を積極的に推進され、協会がさらにご発展されることを祈念いたしましてお祝いの言葉といたします。

財団法人山梨県国際交流協会設立20周年に際して

財団法人山梨県国際交流協会が設立20周年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。また、この間、貴協会が地域の国際化の推進に多大な貢献をしてこられたことに対し、深く敬意を表する次第でございます。

近年、少子高齢化・経済のグローバル化により、地域の国際化は避けては通れない課題となっております。また、外国人の定住化が進んでいる現在、日本人と外国人が同じ地域住民として生きていくための「多文化共生」の視点が強く求められています。外国人住民のための労働、教育といった基本的な問題のみならず、災害時に弱者になりがちな外国人住民への対応、更には社会参画を促す仕組みづくり等、多文化共生による地域社会づくりが大きな課題となっております。

貴協会におかれましては、平成2年9月の発足以来、地域の国際化や地域社会の国際意識を高めるため、県民参加による国際交流やボランティア団体の育成、活動支援等の取り組みを行い、さらに県内の大学やNPO等とも積極的に協力しながら国際化事業を展開されているところであります。また、地域の多文化共生を推進するための様々な事業を実施しておられます。特に、国際交流を推進するための「カンボジア・スタディ・ツアー」、多文化共生のための「災害時通訳ボランティアセミナー」、「医療通訳ボランティアセミナー」等の先進的事业は全国的にも貴重なものであります。

私どもといたしましても、引き続き国際交流や多文化共生の推進等に資する情報提供、事業への助成等を通じて、国際交流協会や地方自治体等と連携し地域の国際化にこれまで以上に努めてまいります。

最後になりますが、山梨県国際交流協会が地域社会の国際化と多文化共生のリーダーとして中核的役割を担い、今後もさらに飛躍されることを祈念しましてお祝いの言葉といたします。

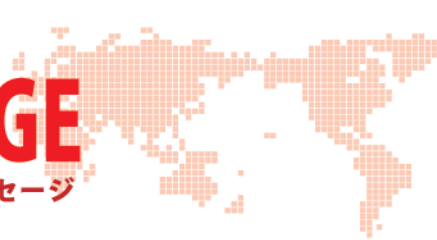


財団法人 自治体国際化協会
理事長
木村 陽子



MESSAGE

メッセージ



貝原 孝雄さん (JICA 広尾センター 所長)

山梨県国際交流協会設立 20 周年、誠におめでとうございます。貴協会が設立二十周年を迎えられたことに対し、心からお祝いを申し上げます。

開発途上国が多くの問題を抱える一方、日本国内でもグローバル化に伴う多文化共生社会への対応などの課題が存在しています。今後は、地域内での国際交流等の推進が益々求められます。

貴協会は「カンボジア・デー」や「国際フェスタ 2010」など山梨県内での国際交流を非常に精力的に推進されており、その効果は計り知れないほど大きなものであります。当機構も共催として貴協会主催の一部事業に関わらせていただいております。大変光栄に思います。この場をお借りしまして、改めて厚く御礼を申し上げます。

貴会の今後益々のご発展とご活躍を祈念いたします。

今度とも、何卒よろしくお願い申し上げます。



雨宮 清さん (山梨日立建機株式会社 社長)

「この国を助けてください。」、今から 17 年前の 1994 年、カンボジアの首都プノンペンで少女を連れ片足をなくした老婆が私に懇願してきました。この出会いから様々な困難を克服し、現在、カンボジアをはじめ、世界 8 カ国で 75 台の地雷除去専用重機が稼働しています。

2010 年 10 月 24 日、山梨県国際交流協会設立 20 周年記念事業である「カンボジアにおける地雷除去と復興地域の人々との交流事業」に関わる機会をいただきました。この事業では、カンボジアで地雷の除去やその後の復興支援で活躍している専門家 3 名が来県し、現地では高い技術力と資金を必要としていること、そしてそれらをマネジメントする人材の養成が急務であることなどを、事業の参加者に対して直接訴えかける貴重な機会となりました。

また、帰国した彼ら 3 人が山梨で得た貴重な体験をカンボジアの将来のために必ず活かしてくれると願っています。

山梨県国際交流協会設立 20 周年、心よりお祝い申し上げます。



吉田 均さん (山梨県立大学国際政策学部 准教授)



現在、山梨県国際交流協会には、貴会にしかできない活動が求められていると思います。それは活動領域を政策提案へ広げていくことではないでしょうか。関係する人々が、地域の政策や事業の企画から参加することで、人々の帰属意識を高め、地域にあった活動が展開できます。

その際のキーワードが、ユニバーサルデザイン (以下、UD) です。

現在多くの地域で、国際関係での UD の導入が模索されています。それは従来の活動のように、外国や外国人のためだけにではなく、地域の制度を外に開き、また共有資産を作る方法として試みられています。

例えば、来年度制定予定の山梨県の「おもてなし条例 (仮称)」に UD を盛り込むことができれば、外国人観光客や在住外国人は勿論、老人・子供・障害者、そして普通の地域住民にも楽しめ、わかりやすい、外に開かれた地域を作ることができます。また観光は収益があるため、独自予算を生み出すことも可能となります。貴会が黒子として、政策立案時に UD 導入を働きかけ、専門家を委員として推薦し、皆でパブリックコメントを書くことで、新しい町の形を切り開くことを心より期待します。

小澤 幸子さん (ハイチ友の会 代表)



私と国際交流協会との出会いは、ハイチ支援活動を始めた 1995 年だと思えます。当時はまだ大学生で右も左もわからない中、「国際」と名がつくことから、きっと何かヒントがあるだろうと足を運んだのですが、我ながら嗅覚が優れていたなと感心します (笑)。それ以来現在に至るまで、絶えることなく有形無形の協力をいただけてきました。

たとえば国際協力系 NGO が集う楽しいイベントや、組織のスキルアップのための研修会など、単独では実現が難しいさまざまな企画を提案していただきました。また、ハイチ大地震に際しては励ましの言葉と御寄附まで賜りました。「あそこに行けば、仲間がいる」そんな安心感がどんなにありがたかったことか。

私たちも頑張りますので、これからも個性豊かな国際協力の担い手をつなぐ要として発展されることを願っております。

田中 忠夫さん (やまなしインターナショナルネットワーク会長)



山梨県国際交流協会の設立 20 周年、誠におめでとうございます。やまなしインターナショナルネットワーク (YIN) は、2000 年 (平成 12 年) 3 月に設立され、10 年余の月日が経ちました。この組織の目的は、「県下の国際交流・国際協力団体のネットワーク化を進め、団体相互の連携と協力関係を密にし、情報交換と共同事業を実施する。さらに在

住外国人との交流を深め、国際性豊かな人づくりと世界に開かれたやまなしの実現のための国際交流・協力活動を行う。」です。

現在 35 の国際交流関係団体から成り立っていますが、各団体は、国際交流、国際協力、多文化共生などの面においてそれぞれ活発に活動、活躍しております。上記目的を達成するための大きな手助けをしてくださっているのが、正に山梨県国際交流協会であると思います。心より感謝申し上げます。

これからも、貴協会が、関係諸団体は勿論、全県民の国際化推進の拠点であり又その強き牽引車であり続けることを強く望みます。最後に、貴協会のますますのご発展をお祈りしております。

有田 勝利さん (特定非営利活動法人「豊かな大地」理事長)



山梨県国際交流協会設立満 20 年、おめでとうございます。

貴団体と私どもの交流は未だわずか 1 年余りなのですが、何年も前からのお付き合いのような気がしてなりません。昨年 10 月のカンボジアとの交流事業をお手伝いしたことが、強い印象として残っているからでしょうか。お聞きするところによれば、昨年の貴団体の記念事業は各方面から大きな評価を得られたと

のこと。限られた範囲ではありますが、ご協力させて頂いた「豊かな大地」としても大変喜ばしくまた嬉しく感じております。

昨今、国内の活動でも国際交流あるいは国際協力のかけ声はよく聞かれますが、全てが本当に地に足のついた活動とは言えないような気がしております。そんな中で、人と人の直接の触れ合いを基本にした貴方の海外との交流はすばらしいことだと思います。これまでの 20 年のご経験をもとにさらに活動を充実させていかれることを祈念いたします。

加藤 順彦さん (多文化共生を考える会「ハート51」)

多文化共生が叫ばれている昨今、山梨の国際協力・国際交流・多文化共生という大きな社会的役割を



担ってきた、山梨県国際交流協会が 20 周年を迎えられたのは、正に異文化の普遍性という文明の摂理に想いを馳せる瞬間であり、陣頭指揮に励んでおられる芦澤 薫会長のご薫陶に大いなる敬意を表します。

グローバル化の最中、ひと口に国際交流・多文化共生とはいっても、見方によっては清濁混沌としたものがあり、その中で、異文化を尊重し合い、マルチステークホルダーのコンセンサスを見つけ出して、国と国、企業と企業、人と人を結びつけ繋いでいくのは並大抵ではありません。

全ての人々が地球規模で考え行動して、次世代のために、一人ひとりの繋がりを深めていくことが望まれます。

今後、山梨県国際交流協会が県が描く国際観光の伸長と歩調を合わせて、更なるご発展を遂げられますようお祈りいたします。

田辺 文子さん (国際ソロプチミスト山梨会長)



山梨県国際交流協会設立 20 周年を国際ソロプチミスト山梨の会員一同、心よりお慶び申し上げます。私たちのクラブ「国際親善と理解」の委員会を中心に、国際交流協会の活動に参加させていただいています。

思い出すと、「卓球大会」にも出場いたしました。最近では、「ワールド・チャリティ・クリスマス」や「やまなし日本語スピーチコンテスト」への協賛、「やまなし日仏音楽交流事業」への協力をさせていただいております。これらへの参加は、同時に私たち会員も皆様方と共に学び、共に考え、共に喜び、相互理解を深めています。

国際交流協会はまた、興味津津たる場所でもあります。世界の流行も、ここに集う方々が紡ぎだす心に響く物語も、お互いを思いやるやさしさも、青嵐のごとき若者たちの希望も夢も存在する場所でもあります。

どうぞこれからも山梨の国際化と山梨県民の国際交流の推進に、ここを訪れる皆さまをしっかりと包み、導いて寄与して下さることをご期待しております。

長田 源夫さん (山梨県移住家族会 会長)



私が移住家族会に入会したのは、昭和36年。弟の誉歳(タカトシ)が産業開発青年隊としてブラジルに移住した年です。その後、昭和44年に弟、和歳(カズトシ)も移住、しかし、33歳で病死、昭和57年に兄弟5人で3回忌法要のため訪伯、一ヶ月各地を訪問、時のブラジル県人会高野会長、右左口村出身の小林三兄弟をはじめ、多くの方々と出会ったことが昨日のこのように思われます。

平成7年、移住家族会総会には、国際交流協会伊藤局長(高校の同級生)が就任。家族会の会長を受ける決断をし、今年、16年目になろうとしています。当時会員は、100名余り。現在は、高齢化のため50名を割っております。

移住して60有余年ぶりに郷土を訪問された人たちを迎え、また3世、4世の研修員たちが、毎年山梨の産業文化を学びにやってきます。この人たちの「後押し」が少しでもできればと、健康で動ける限り、この灯を消さないように、少なくなった会員と共にがんばります。

青山ジェニーさん (タイ/タイ料理「ロータス」)

山梨県国際交流協会設立20周年おめでとうございます。いつも私たち外国人住民のために、時にはやさしく、時には厳しく接していただきありがとうございます。国際交流協会があるから私たちは幸福に暮らしていける!私にできることがあれば、いつでもお手伝いさせていただきます。

ステファノ・ヴィエロさん (カナダ/イタリア語、英会話講師)

設立20周年、おめでとうございます。自分の話す言葉や文化を伝え、広める機会を与えてくださったことに感謝しています。国際交流センターは、気軽に日本を学び、世界を学び、そして自分の文化を素直に表現できる場所。グラッチェミレ!

岡本 リジアさん (ブラジル/日系人就業準備研修事業コーディネーター)

設立20周年おめでとうございます!いつも我が家のように国際交流センターを使わせていただき、ありがとうございます。

ミリアン・永井さん (ブラジル/アルプス学園代表)

山梨で暮らすブラジル人をはじめ、外国籍コミュニティのためのイベントを提供し続けて迎える20周年、おめでとうございます。

林 ジョニーさん (YIA 外国人なんでも相談) 通訳)

設立20周年、おめでとうございます。世界はグローバル化し、協会の役割はますます重要になります。これからもいろいろな国と国際交流を続けてほしいです。

マンディ・ジアマン・リンさん (カナダ/県国際交流員 CIR)

設立20周年、おめでとうございます!
YIAのおかげで、山梨にいるこの2年間、文化講座や国際サロンなど様々な場で山梨の人々と交流ができ本当に感謝しています。

依田 美樹さん (山梨県中国語・国際交流会 理事長)



山梨県国際交流協会設立20周年、心からお祝い申し上げます。貴会におかれましては20年間に渡り、国際理解や国際交流活動のため、また派遣事業やホームステイの受入れ等、幅広く地道な国際交流活動に貢献されてきました。私は設立当時から貴会とおつきあいをしています。1994年「シンフォニー・アジア」を開催した当時、アジアを中心に各国の代表が頻りに山梨を訪れました。重みのある活動を貴会と一緒に歩んできました。特に、2000年「やまなし国際ナショナルネットワーク」設立の年、私は責任者として貴会と一緒に中国山東省雑技団を山梨に招聘し、9つの市町村で公演を行いました。光陰矢の如し、あれから12年の月日が経ちました。これまでの関係者各位の努力に対して深甚なる敬意を表します。

今後とも県民のため、そして本県の国際化にも一層の活躍をご期待申し上げます。お祝いの言葉といたします。

鄭 玉蘭(ていぎょくらん)さん (山梨台湾総会 会長)



国際交流協会設立20周年おめでとうございます。

外国人住民のために日本語教室、外国人相談、多文化共生事業など、多方面に渡り展開されています。高い理想を掲げて前進する姿に心より敬意

を表し、ご支援申し上げます。

ますますお仕事に励み、国際交流協会の発展のために貢献されますようお願いいたします。山梨台湾総会も貴会と共に頑張るつもりです。一層のご活躍をお祈りいたします。

清水 達也さん (ペルー山梨親睦会 代表)

山梨県国際交流協会設立20周年、誠にありがとうございます。

この20年間、ペルー山梨親睦会は21人の技術研修員を送らせていただきました。言葉、生活習慣などの違いに戸惑う研修員を親身になってお世話いただき、心より感謝申し上げます。研修員たちは技術や知識を山梨で習得しただけでなく、たくさんの方々との出会いの中で、大きく成長できたと確信しております。敬意を表し、今後の益々のご発展をペルー国より祈念いたします。

高野 ジョージさん (ブラジル山梨県人会 会長)

2008年、伯国日本移民百年の記念式典が皇太子殿下をお迎えして挙行されました折、山梨県からは副知事様及び県議会議長様が御臨席下され、光栄この上なしでした。現国際交流協会会長の芦澤 薫様が当時の副知事であり、貴協会には特にお世話になっております。ブラジル山梨県人会は、誠に縁が深く感じられます。設立20周年、誠にありがとうございます。

清水 フェルナンド 洋さん (メキシコ山梨県人会 相談役)

山梨県国際交流協会設立20周年、おめでとうございます。メキシコからの男子21名、女子8名の若い研修員を温かく迎えてくださり、心のもったご指導、ご鞭撻を頂き、メキシコ山梨県人会一同心より感謝すると共に、山梨県国際交流協会の益々のご発展とご活躍をお祈り申し上げます。

小野 英明さん (Lost Color People 代表)



山梨県国際交流協会設立 20 周年おめでとうございます。

私の場合は、主に音楽を通しての思い出が蘇ってきます。

クリスマス・パーティーに始まり、スコットランドの音楽グループ「シーアント」との出会い、

アニメス b 映画祭、やまなしの France 展、シャンソン教室。また、設立 20 周年記念事業として 2010 年 3 月に行った「やまなし日仏音楽交流事業」。

フレンチグループ「Semtazone」、北杜高校ギター部、山梨学院高校吹奏楽部、上野原高校吹奏楽部などによる感動的なステージが繰り広げられました。「ワインと音楽の夕べ」では、

美味しい県産ワインも印象的でした。そして、記憶に新しい「国際フェスタ 2010」、どれもとても素晴らしい思い出の数々です。

これらのイベントを通して、有意義な時間を共有できたことをうれしく思っています。国際交流センターは、さまざまな出会いの場所、新たなスタートへのきっかけを与えていただける場所として、いつも刺激に満ちています。これもひとえに芦澤会長はじめ、素晴らしいスタッフの皆様のおかげであると深く感謝しております。

これから 10 年、20 年と、想像を絶するスピードで移行行く時代の中においても、引き続き、私たちの力となっただけ

ることを期待しております。

また、世界に向け、さらに大きく羽ばたいてゆくであろう次世代のためにも、ご指導ご協力、よろしくお祈りいたします。

また、世界に向け、さらに大きく羽ばたいてゆくであろう次世代のためにも、ご指導ご協力、よろしくお祈りいたします。

岩崎 けんいちさん (シンガーソングライター)

20 周年おめでとうございます。

国際交流センターは国際交流の道の駅みたいにいろんな外国の人や文化が集まる場所、そしてそれは道標、出会いと始まりの場所。

掲示板に貼られたたくさんのお知らせや情報は花のように見えて来て、いろんな花の名前を教えてください。

僕は国際交流センターを思い浮かべると頭の中がカラフルになります。

万国旗が青空に広がり、なりやまめ音楽の中をたくさんの人がパレードをしているのです。

まるでオリンピックのセレモニーみたいにピースフル。そうか、カラフルって言葉がピッタリかもしれませんね。

何かのきっかけでカラフルになる瞬間、きっとそんな出会いが沢山あったんじゃないでしょうか。

想像するだけでもカラフルでスマイル。

国際交流センターは道の駅みたいに道標で、

花みたいにカラフルで虹みたい。虹の下で逢いましょう！



国際交流協会 20 周年によせて

ダニエウ・サントスさん (平成 22 年度ブラジル県海外技術研修員)

世界では、さまざまな出来事が起っているけれど、国際交流協会のお陰で、私たちは友好関係に希望を持つことができます。

設立 20 周年、おめでとうございます！

パブロ・清さん (平成 22 年度メキシコ県海外技術研修員)

国際交流協会で素晴らしい経験をさせていただき、いろいろな日本の文化や伝統を学びました。設立 20 周年、本当におめでとうございます。ぜひ、皆さん、Peru へ来てください。

山梨県国際交流協会のますますのご発展をお祈りいたします。

近藤マリベル まなみさん (平成 21 年度パラグアイ県海外技術研修員)

設立 20 周年、誠にありがとうございます。

皆様のご努力により、ゆるぎないご盛業にあられますことは、嬉しい限りと存じます。今後の発展を祈念いたします。

李 彪 (りひょう) さん (平成 10 年度県費留学生/中国)

四川省からの留学生として山梨大学人間教育学部で日本語と日本文化を勉強していました。20 周年を迎え、国際交流に並々ならぬ貢献をありがとう！これからの発展を祈念いたします。

ローラ・エリーナ・シルカさん (平成 22 年度県費留学生/アメリカ)

アイオワ州から留学生として来県しました。国際交流協会の皆さんに助けられ、とても感謝しています。

ロバン・ジェヌティエさん (gran kino 代表/元 Semtazone)

20 歳！あらゆることを成し遂げ、遙か遠くまで出掛けてみたり、全世界を眺めてみたり、忘れがたいお祭り騒ぎをしてみたり。活力に満ちあふれた最高の年齢ではないですか！

昨年 3 月、20 周年記念事業のオープニングとして、私たちは「やまなし日仏音楽交流事業」というフレンチパーティーでダンスホールの扉を開けました。

新たな友人である山梨県国際交流協会の皆様との忘れがたい出会い、とりわけ、貴重な音楽交流の機会を満喫することができました。

日仏音楽交流事業に参加するため、山梨県国際交流協会からご招待いただいた際は、気がみなぎるような大きな喜びでした。日仏間の 11,000km のためにお断りする理由なんてありませんでした！！

私たちグラン・キノは、改めて山梨県国際交流協会の皆様にお礼を申し上げます。そして、人生で最も素晴らしい年齢である 20 歳と同様に素敵な 20 周年となりますようお祈りいたします。

世界は思うほど広くはないので、日本又はフランスで皆様と再会できますことを願っております。



20周年記念事業

やまなし日仏音楽交流事業「Semtazone がやってきた！」

平成22年3月12日(金)～3月15日(月)



文化庁及び山梨県との共催により、地域の文化・芸術の振興及び地域経済の活性化を目的として、「やまなし日仏音楽交流事業」を実施しました。

本県と姉妹関係にあるフランスのソーヌ・エ・ロアール県からフレンチロックグループ「センタゾン」をお招きし、地元の音楽家たちとのコラボレーション、高等学校吹奏楽部及びギター部との共演、また「ワインと音楽のタベ」では、本県が誇るワイナリー7社の個性豊かなワインをお楽しみいただきました。

ジャンルを超えた音楽家たちの交流を通じて、本県の音楽文化の向上を図るとともに、コラボレーションによる音楽の楽しさを紹介しました。

- 3月12日「ワインと音楽のタベ」 甲府富士屋ホテル
Semtazone、Lost Color People、天河道
＜県産ワインの披露＞
アルプスワイン(株) 勝沼醸造(株) (株) サドヤ
サントリー酒類(株) 登美の丘ワイナリー 白百合醸造(株)
スズラン酒造工業(有) ルミエール(株)
- 3月14日「国中地域の高校生との共演」 韮崎文化ホール
Semtazone、山梨学院大学附属高校吹奏楽部、県立北杜高校ギター部
- 3月15日「郡内地域の高校生との共演」 都の杜うぐいすホール
Semtazone、県立上野原高校吹奏楽部

「山梨県四川省友好県省締結 25 周年記念ツアー」

平成22年8月3日(火)～8月8日(日)



山梨県と四川省との友好県省締結 25 周年を記念して、県民の皆様から成る友好県省締結 25 周年記念訪問団を編成・派遣し、四川大地震からの早期復興と両県省の友好交流のシンボルとして、「山梨四川友好の森」で桜の記念植樹を行ってきました。また、同訪問団は、締結 25 周年を祝う記念式典、祝賀会等の公式行事に参加したほか、上海万博への参加及び四川省内の世界遺産の視察を行ってきました。

当協会では、2008年5月に発生し未曾有の被害をもたらした四川大地震からの早期復興と両県省の友好交流のシンボルとなることを願い、県民の皆様からのご寄付を原資として、山梨県、四川省政府とともに、都江堰市内の「山梨四川友好の森」で桜の植樹を行う記念事業を実施してきました。

● 山梨県・四川省友好県省締結 25 周年記念訪問団 61 人

◆ 世界遺産コース 50 人
・ 日程 平成 22 年 8 月 3 日～8 月 8 日

◆ 上海万博コース 11 人
・ 日程 平成 22 年 8 月 3 日～8 月 7 日

◆ 協力：(株)JTB 関東・甲府支店、富士急トラベル(株)
山交トラベルサービス(株)、(株)YBS Y&L

20周年記念事業

「カンボジアにおける地雷除去と復興地域の人々との交流事業」

平成22年10月22日(金)～10月27日(水)



NPO法人「豊かな大地」と連携を図り、カンボジア王国から地雷除去及び農業復興に指導的立場で取り組む政府関係者やNPO関係者など3名を招へいしました。

重機による地雷除去の後、農業生産が行われるまでに復興した現地の状況報告や県民との交流事業を通じて、国際協力及び国際貢献の必要性について考える機会とする交流イベントを実施しました。

- 招へい者
 - ◆ カンボジア王国バットバン州農村開発局職員 セン・スヴォ氏
 - ◆ カンボジア地雷除去センター (CMAC) 職員 チャン・ソンパー氏
 - ◆ 特定非営利活動法人「豊かな大地」職員 モン・ソンパー氏
- カンボジア・デー (10月24日)
 - トーク&ディスカッション、ワールド・グルメ、トーク&ライブ等大月市立初狩小学校 (10月25日)
- 学校交流
- 視 察
 - 山梨日立建機(株)、県果樹試験場、白百合醸造(株) 富士北麓方面
- 表敬訪問
 - 山梨県副知事、駐日カンボジア王国特命全権大使 (独)国際協力機構 (JICA) アジア地域担当部長 日立建機(株)社長、(財)山梨県国際交流協会会長

オープンキャンパス「やまなし YIA 国際塾」 平成22年10月10日(日)～平成23年1月15日(土)



国際的な分野で活躍されている方々を講師としてお迎えし、その実体験や研究成果等に基づく講義に加え、受講者をグループ編成し、グループごとに設定したテーマについて調査・研究を行う「自主研究」を導入することにより、受講者参加型の開放講座としました。

- 10/10 「アフガニスタンと緊急援助について」
JICA 広尾センター 所長 貝原孝雄氏
- 10/24 「カンボジア・デー/トーク&ディスカッション"豊かな大地をめざして"」
山梨日立建機(株) 社長 雨宮 清氏、カンボジアからの招へい者3名他
- 11/7 JICA 地球ひろば(渋谷区広尾) 訪問
地球案内人 青木 淳氏
- 11/20 「フランス・オムニバス」
元(財)自治体国際化協会パリ事務所長 山崎榮一氏
- 12/4 「世界まるごと How to 国際人」
京都外国語大学・大学院教授 ジェフ・パークランド氏
- 12/18 「多文化主義の国、カナダへようこそ！」
在日カナダ大使館一等書記官 エリック・ピーターソン氏
- 1/15 「中国での震災復興のための観光協力が山梨県に与えるインパクト」
山梨県立大学准教授 吉田 均氏
グループ研究の発表
山梨県、甲府市、当協会への提言
県立国際交流センター周辺マップの作成

20周年記念事業

「国際フェスタ 2010」

平成22年11月13日(土)～平成22年1月15日(日)



「第25回県民の日記念行事」の会場で、県内在住の外国人やアーティストとの連携のもと、様々な国の食文化・音楽・パフォーマンスを広く県民に紹介することを通じて、地域レベルの国際交流及び多文化交流の推進を図ることを目的として、「国際フェスタ2010」を開催しました。

● Music & Performance

11/13(土)

- ・こどもたちの歌と踊り〔ラボ国際交流センター山梨〕
- ・台湾原住民の踊り〔山梨台湾総会〕
- ・SambaとSalsa〔ハート51〕
- ・二胡演奏〔沈桂栄&日中交流情報センター〕
- ・フィリピン伝統舞踊〔Holy Family Filipino Community in Kofu〕

11/14(日)

- ・小林真人
- ・甲州戦記サクライザーヒーローショー
- ・Lost Color People
- ・岩崎けんいち

● ワールドグルメ

ブラジル料理、韓国料理、台湾料理、カンボジア料理、ペルー料理、タイ料理
中国料理、日本料理

● 国際ブース

JICA 地球ひろば、岩崎けんいち「音楽の旅」、フェアトレード雑貨「ハーモニー」
やまなしインターナショナルネットワーク

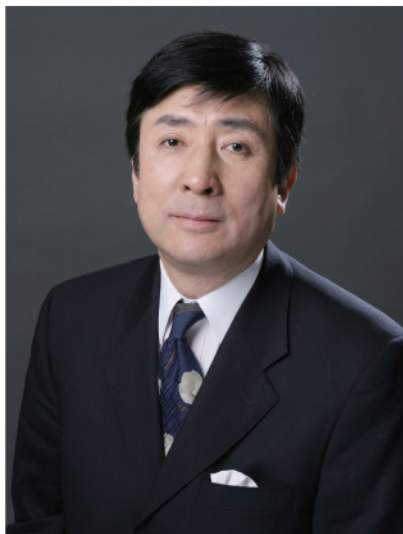
外国籍児童・生徒シンポジウム 「外国にルーツを持つ子供たちと学校教育」 平成22年10月30日(土)



日本語及び母国語によるコミュニケーションが困難な外国籍児童・生徒に対する日本語教育及び教科指導が課題となっているため、外国籍児童・生徒に関する教育シンポジウムを開催し、そのような状況を少しでも改善するための方策等について議論・提言する機会としました。

- 講演「外国からきた子どもたちと言葉の学習」
山梨県立大学 准教授 安藤 淑子氏
- パネルディスカッション
「南米出身者を中心とした子どもたちの教育
～いま求められていること～」
<パネラー>・三井物産(株) 環境社会貢献部社会貢献室 柴崎 敏男氏
・アルプス学園代表 ミリアン・永井氏
・中央市教育委員会教育長 比志 保氏

記念講演会「2011年日本の針路・世界の行方」 講師 手嶋 龍一氏 平成23年3月13日(日)



手嶋 龍一氏
外交ジャーナリスト・作家
元 NHK ワシントン支局長

NHK ボン支局長、ワシントンシ支局長を務め、9.11テロ事件では11日間にわたる24時間連続の中継放送を担当。冷静で的確な分析が視聴者の圧倒的な支持を得た。すでに80年代からノンフィクションの書き手として注目され、自衛隊の次期支援戦闘機の研究開発をめぐる日米の暗闘を描いた『たそがれゆく日米同盟—ニッポンFSXを撃て』や、湾岸戦争での日本外交の迷走を活写した『外交敗戦—130億ドルは砂漠に消えた』(共に新潮文庫)は現在も版を重ねるロングセラーとなっている。

地域レベルのさらなる国際化推進の中核的な組織としての重責を果たしていくため、関係団体との効果的な連携・協働のもと、社会経済情勢の変化に対応しながら、「発信し、行動する」協会を目指して、10年先、20年先を見据えた質の高い事業の展開を積極的に図っていきます。

1 多様な国際情報の発信

地域レベルのさらなる国際化を図るため、地域住民の国際理解と国際感覚の増進を目指して、多様な国際情報の発信の機会を提供していきます。

- 国際理解講演会
 - ・平成22年度 講師：手嶋龍一氏（外交ジャーナリスト）
 - ・平成21年度 講師：辺 真一氏（朝鮮半島情勢ジャーナリスト）
- オープンキャンパス「やまなし YIA 国際塾」 他

2 NPO 法人等他の団体との連携

厳しい財政状況にあっても、常に質の高い事業の提供と事業効果を目指して、市町村、地域の大学及びNPO法人など、他の団体との効果的な連携を進めていきます。

- カンボジアにおける地雷除去と復興地域の人々との交流事業
連携先：NPO法人豊かな大地、(財)自治体国際化協会、(独)国際協力機構（JICA 地球ひろば）
- 外国籍児童・生徒のための教育シンポジウム
連携先：山梨県立大学
- 災害時通訳ボランティアセミナー及び避難所体験 他
連携先：甲府市、NPO法人山梨県ボランティア協会、日本赤十字社山梨県支部
NPO法人災害・防災ボランティア未来会

3 事業内容のボーダレス化

国際情勢が目まぐるしく動き、地域レベルの国際化が急速に進展していく中で、多様化する県民のニーズに的確に対応していくとともに、より高い事業効果を目指して、従来の「国際交流」、「国際協力」、「多文化共生」といった単一のカテゴリーでは括れない、事業内容のボーダレス化を図った多角的な事業の展開を進めていきます。

- カンボジアにおける地雷除去と復興地域の人々との交流事業
目的：カンボジアからの招へい者と県民との交流促進、地域レベルの国際協力及び国際貢献の推進
- 国際フェスタ2010 他
目的：外国人住民と県民との交流促進、外国の音楽・舞踏・料理による異文化理解を通じた多文化共生の推進

4 多文化共生へのさらなる取り組み

本県における外国人登録者数は、平成21年12月末現在で1万6千人を超え、居住する外国人との「多文化共生」の重要性が高まっています。多文化共生という概念が定着し切れていない現状を踏まえ、当協会では、これまで蓄積したノウハウや人的ネットワークを有効活用しながら、市町村や関係団体との緊密な連携のもと、外国人住民が日本の生活に適應し、安心して生活できるようにするための多様な事業活動を尚一層積極的に進めていきます。

- 6か国語緊急ガイドブックの発行
- 災害時通訳・医療通訳ボランティアセミナーの開催 他

役員	三村賢治 山梨県四ツ省友好県民会議	平成2年から20年にわたり理事として貢献
	吉田寿々子 山梨日仏協会副会長	平成2年から18年にわたり理事・評議員として貢献
	李榮求 在日本大韓国民団山梨県地方本部顧問	平成4年から18年にわたり理事・評議員として貢献
	大澤英二 NPO法人山梨県ボランティア協会会長	平成4年から18年にわたり理事・評議員として貢献
	後藤浩子 国際文化アカデミー代表	平成4年から18年にわたり理事・評議員として貢献
団体	国際ソロプチミスト山梨 会長 田辺文子	長年にわたる協会事業への支援に対する功績 〔県海外協会時代～現在〕
個人	長田源夫 山梨県海外移住家族会会長	長年にわたる海外県人会支援及び海外技術研修員・留学生への支援（果物・野菜類の提供）に対する功績 〔平成6年4月～現在〕
	窪田全子 日本語講師	長年にわたる日本語講座の講師としての功績 〔平成4年9月～現在〕
	萩野元幸 元県立農林高校教諭	長年にわたる海外技術研修員・留学生等への支援に対する功績（果物・野菜類の提供） 〔県海外協会時代～現在〕
	松本公夫 山梨青年海外協力隊協会事務局長	長年にわたる協会事業への支援及び海外技術研修員・留学生への支援に対する功績 〔県海外協会時代～現在〕

1990年 (平成2年)

- 9月 財団法人 山梨県国際交流協会発足 (山梨県海外協会を改組)
11月 山梨県国際交流センターオープン (山梨アイオワ姉妹締結 30周年記念式典開催)

1991年 (平成3年)

- 2月 地域国際化協会として認定
4月 国際交流協会シンボルマーク選定
6月 「留学生支援テレフォンカード収集キャンペーン」事業開始
8月 「山梨日本語教師ボランティアの会」発足
10月 専門相談員による「在住外国人のための生活相談」開始
「国際交流人材バンク」登録制度発足

1992年 (平成4年)

- 1月 協会設立1周年記念事業「オペラ・アイオワ」公演
3月 年報「With You」発行
4月 国際交流センター「忠清北道の間」完成
7月 米アイオワ州第20回 RAGBRAI (アイオワ州横断自転車ツアー) 参加開始
11月 第1回「留学生フレンドシップ・パーティ」開催
ニューズレター「Yamanashi」発行

1993年 (平成5年)

- 2月 「県内在住外国人のための生活ガイドブック (ポルトガル語版)」作成
7月 米アイオワ州洪水被害義援金「募金活動 (8/31まで)」
10月 英語版 山梨県地図作成

1994年 (平成6年)

- 3月 民間国際交流団体連絡会開催
5月 「カナディアン・ハイスクール一日体験留学」
6月 「山梨県国際交流・協力団体ダイレクトリー'94」発行
8月 「特定公益増進法人」認定
11月 「県内の民間国際交流・協力団体 (67団体) によるネットワーク「シンフォニー・アジア」開催実行委員会発足 (～平成8年度)
「日本語講座」開講 (～3月)

1995年 (平成7年)

- 1月 「日本語指導者研修事業」開催
2月 「外国人のための生活ガイドブック (英語版)」発行
山梨県弁護士会と共催し、「外国人なんでも相談会」開催
4月 平成7年度より、5カ年計画で「基本財産造成」事業開始
国際交流基金外国文化事業受入として韓国伝統芸能「パンソリ」公演
11月 「県民の日事業」参加『ワールド・グルメ』

1996年 (平成8年)

- 3月 「山梨県国際交流・協力団体ダイレクトリー'96」発行
5月 国際子ども教室「イースター祭」開始
6月 「外国人のための防災デー」開始

1997年 (平成9年)

- 1月 「タイ・スタディ・ツアー」(1/5～11)
3月 「世界に開くやまなし協力員」制度発足
4月 「生活ガイドブック (中国語版)」作成
6月 「アジア・アメリカン・スタディツアー」(6/14～22)
7月 「アチャイ・メキシコ民族舞踊団山梨公演」(7/17～25)
9月 「国際協力写真パネル展」開始 (9/9～30)
11月 「スポーツ・フェスティバル」開催 (バスケットボールを通じて外国人との交流)
国際協力スタディ・ツアー「ネパール」(11/26～12/3)

1998年 (平成10年)

- 1月 「地球市民プラザ」開催事業 (～平成11年度)
「地球市民教養講座」前国連事務次長 明石 康氏 講演会実施
3月 「ホームステイの手引き」作成
「外国人ネットワーク委員会」発足
7月 日本におけるフランス年開催事業「映画祭 (アニメス b は映画が大すき)」(7/14～19)
8月 青少年国際協力体験事業「タイランド」(8/17～22)
10月 (財) 山梨県農業拓植基金協会債務保証事業引き継ぎに伴う寄付行為変更
11月 国際協力スタディツアー「ベトナム」(11/25～12/1)
12月 「外国人が作る何でも情報ガイドブック (5カ国語)」作成

1999年 (平成11年)

- 1月 米アイオワ州コーネル大学奨学生派遣事業開始
「地球市民プラザ」開催事業 前ペルー駐特命全権大使 青木盛久氏 講演会実施
5月 「山梨県在住外国人生活実態調査結果」の発表
7月 「地球市民プラザ」開催事業「国際 Youth キャンプ～自然環境を考える～」実施
8月 青少年国際協力体験事業「タイランド」(8/3～8)
ホームページ開設、インターネット端末設置
12月 平成7年度より5カ年計画で進めていた「基本財産造成」事業完了
「山梨県国際交流・協力団体ダイレクトリー'99」発行

2000年 (平成12年)

- 3月 「やまなし国際ナショナルネットワーク」設立
四川大学語学コース奨学生派遣事業開始
7月 「アイオワ・スタディ・ツアー」(7/18～25)
8月 青少年国際協力体験事業「タイランド」(8/1～6)
10月 中国山東省雑技団山梨公演 (10/16～11/5)

2001年 (平成13年)	1月	協会設立10周年記念式典・講演会「世界の中の日本」 マークス寿子氏
	8月	青少年国際協力体験事業「タイランド」(8/2～7)
	10月	海外芸術講演「エル・アズフィット」(チュニジア) 「国際フェスティバル～ワールド・ビレッジ～」
2002年 (平成14年)	3月	「英語版地図 山梨ガイドマップ」改訂版作成
	6月	隔月機関誌「Yamanashi」へポルトガル語情報ページを追加
	9月	「国際フェスティバル月間」(～10月)
	12月	HP用「英語版山梨バス路線ガイド」作成 民間国際協力活動促進事業「タイランド研修」(12/20～23)
2003年 (平成15年)	2月	国際講演会「日本を取り巻く国際情勢」 辺 真一氏
	4月	「やまなし国際交流親善大使等設置事業」発足(～平成18年) 「外国人なんでも相談」へ法律の専門家が加わる
	6月	「ボランティア通訳・通訳ガイド支援セミナー03」(2日間)
	9月	国際フェスティバル「ワールド・ミュージック&アート」開催
2004年 (平成16年)	2月	文化庁委託事業「山梨県日本語支援コーディネーター研修」実施(2日間)
	8月	国際サッカーマッチ「ワールドマッチ2004」開催
	9月	「異文化コミュニケーション・ワークショップ」実施(9/11,18,25)
2005年 (平成17年)	4月	「在住外国人との共生セミナー～災害ボランティア活動の報告を通して防災を考える～」
	5月	国際講演会「最新の北朝鮮情勢と日本の対応」 重村智計氏
	11月	NGO活動等促進事業「国際フェア・トレード・デー"世界の食とファッション"」 県民の日「国際フェスタ2005」(11/12～13)
2006年 (平成18年)	6月	多文化共生事業「フェスタ・ジュニナ」開催
	7月	「多文化共生セミナー」開催
	8月	青少年国際協カスタディツアー「タイランド」(8/1～6)
	9月	国際講演会「これからの国際交流」 波多野敬雄氏
	10月	「NPO多文化共生フォーラム」開催
2007年 (平成19年)	2月	「日本語スピーチコンテスト」開催
	8月	青少年国際協カスタディツアー「タイランド」(8/13～19)
	9月	「ブラジルウィーク in やまなし」開催(9/4～9)
	11月	国際理解講演会「ブラジルへ行った日」 嵐山光三郎氏 県民の日「国際フェスタ2007」(11/10～11) 「医療通訳ボランティアセミナー」実施(11/25、2/23 全2回)
2008年 (平成20年)	2月	「YIN多文化共生講演会～アフリカ系アメリカ人から見た日本～」
	4月	中国研修生日本語集中研修事業(笛吹市及び石和温泉旅館組合からの委託事業) / ～8月
	7月	「国際フェスタ2008」(中央市)開催
	9月	日伯交流年記念「新しい航海へVamos! (行こう!)」開催 「災害時通訳ボランティアセミナー」(9/7、21、10/5)
	11月	国際理解講演会「アフリカと日本の抱える問題」 ゾマホン・ルフィン氏
2009年 (平成21年)	1月	「英語・韓国語観光ボランティアガイド研修(～3月 全5回)」
	2月	緊急情報ガイドブック「6カ国語版 こども緊急ガイド」作成
	7月	「県内在住外国人の暮らしを考える意見交換会」在住外国人から見た住民税の納付の実態について」
	10月	「県内在住外国人のための避難所体験」実施 開放講座「青少年国際オープンキャンパス」開催(～1月)
	11月	国際理解講演会「拉致・核・日朝関係の行方」 辺 真一氏
2010年 (平成22年)	1月	協会ホームページ・リニューアル(6カ国語へ多言語化)
	3月	緊急情報ガイドブック「6カ国語版 妊娠・出産ガイド」作成 協会設立20周年記念事業 「やまなし日仏音楽交流事業 センタゾンがやってきた!」開催
	4月	「グローバル支援事業」開始
	8月	協会設立20周年記念事業 「山梨県四川省友好県省締結25周年記念ツアー」実施(8/3～8)
	10月	協会設立20周年記念事業 オープン・キャンパス「やまなしYIA国際塾」実施 協会設立20周年記念事業 「カンボジアにおける地雷除去と復興地域の人々との交流事業」開催
		協会設立20周年記念事業 外国籍児童・生徒シンポジウム「外国にルーツを持つ子供たちと学校教育」実施
	11月	協会設立20周年記念事業「国際フェスタ2010」開催
2011年 (平成23年)	3月	山梨県国際交流協会設立20周年記念式典 協会設立20周年記念事業 記念講演会「2011年日本の針路・世界の行方」 手嶋 龍一氏

役員

役職	氏名	所属団体・職名等
会長	芦澤 薫	元副知事
副会長	小佐野 隆正	国際興業株式会社取締役社長
副会長	上原 勇七	山梨県商工会議所連合会会長
副会長	川村 隆明	山梨大学副学長
理事	後藤 雅夫	山梨県観光部部長
理事	廣瀬 久信	山梨県農業協同組合中央会会長
理事	竹井 清八	山梨県商工会連合会会長
理事	堀内 茂	山梨県市長会会長
理事	天野 康則	山梨県町村会会長
理事	飯窪 さかえ	山梨県女性団体協議会会長
理事	三村 賢治	山梨県四川省友好県民会議会長
理事	赤池 英至	山梨県国際文化交流会最高顧問
理事	大澤 英二	山梨県ボランティア協会会長
監事	今沢 忠文	山梨県市長会監事
監事	笹本 英一	山梨県会計管理者

評議員

役職	氏名	所属団体・職名等
評議員	渡辺 英機	山梨県議会農政商工観光委員会委員長
評議員	波木井 昇	山梨県立大学理事
評議員	古屋 正人	山梨県観光部国際交流課課長
評議員	堀之内 睦男	山梨県教育委員会義務教育課課長
評議員	奥村 圭子	山梨地域留学生交流推進協議会運営委員
評議員	藤原 弘	山梨日日新聞社編集局局長
評議員	古屋 未知男	テレビ山梨報道制作局局長
評議員	依田 茂己	山梨県青少年団体連絡協議会会長
評議員	今井 裕久	山梨日仏協会会長
評議員	弦間 泉	山梨日中友好協会副会長
評議員	ミリアン・ナガイ	アルプス学園代表
評議員	李 榮求	在日本大韓国民団山梨県地方本部 顧問
評議員	後藤 浩子	国際文化アカデミー代表

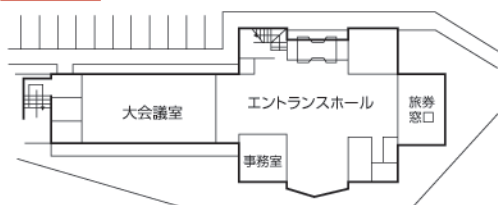


山梨県立国際交流センター

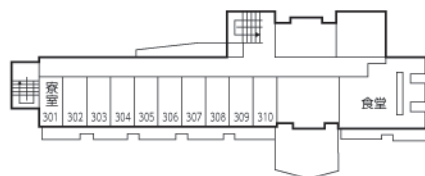
- 指定管理者 財団法人山梨県国際交流協会
- 住 所 甲府市飯田2丁目2-3
- 開館時間 午前9時～午後9時
- 休 館 日 毎週月曜日（祝日のときは翌日）
祝日の翌日、年末年始
- ★ 国籍や年齢に関係なく利用しやすい施設を目指して、山梨県立大学との連携により、センター内にユニバーサルデザイン (UD) を導入しました。

見取り図

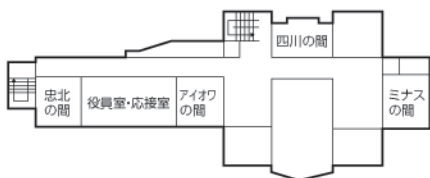
1 F



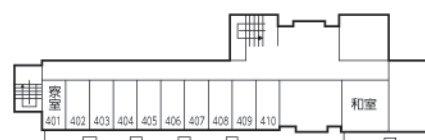
3 F



2 F



4 F



1F 旅券発行窓口

- 山梨県パスポートセンター
(Tel. 055-222-2040)

受付時間	申請 / 月 ~ 金	8:30 ~ 17:30
	交付 / 月・水・金	8:30 ~ 17:30
	火・木	8:30 ~ 19:00
	日	9:00 ~ 16:30

※土曜、祝祭日、年末年始（12/29～1/3）は休み



1F 大会議室

- 研修会、講演会、シンポジウム等にご利用いただけます。



2F 小会議室

- 研修会、語学教室、会議等にご利用いただけます。



エントランスホール

- フリーインターネット・サービス
インターネットが無料で利用できます。
(予約制)

- その他情報機器（無料）

DVD プレーヤー（各小会議室）
スクリーン（大会議室）
プロジェクター
インターネット端末機（ロビー）

貸出し施設

施設名	収容人数	
大会議室	机、椅子使用	70名
	机、椅子なし	100名
小会議室	15名	

 財団法人 **山梨県国際交流協会**

〒400-0035 甲府市飯田2丁目2-3 山梨県国際交流センター内 Tel.055-228-5419 Fax.055-228-5473 <http://www.yia.or.jp> webmaster@yia.or.jp